

卷末附図説明

北海道銀行新築概況

株式会社北海道銀行の本店建物は北海道小樽區色内町に在りて第一火防道路と称する傾斜ある大通りに面して建てらる敷地正面の長延約八十四尺本館間口七十一尺其坪数百五十七坪にして軒高は正面中央に於て三十三尺とす営業場は平家建其他は二階建にして一部分地下室を設く工事は明治四十三年八月に着手四十五年七月に竣成せらる本館は石造にして腰石及玄関周圍に於ける登り石を除くの外全部札幌軟石を用せらる小屋組及床組に於ける構造材並に天井、床、羽目、枠、建具階段等の仕上材は悉く北海道産の木材とす。

建物は其外部に対し純然たる防火構造と防火設備とを有し又耐寒設備を有す室内には蒸気暖房器及電燈具の設置あり。

外觀の様式はフロレンス、レネーサンスの或る特徴を加味して計画せらる。

設計者は工学士長野宇平治氏現場監督者は大澤澤次氏なり。

一式請負者は小樽區稻穂町加藤忠五郎（大虎）氏にして特種材料特種及工事請負者の重もなるものは（暖房）大坂市村井菅谷商会、（窓防火鉄扉）東京市伊藤常太郎氏、（建具金物）東京市建築金物商会、（金庫扉）東京市竹内金庫店、（大理石羽目）横濱市大日本銘石商会、（電燈具）東京市大久保谷次郎氏、（電燈配線）小樽電燈会社、（裝飾家具）東京市橋本三右衛門氏等なり。